

ROSE



Communication

わが茨城

No.

120

通巻 120 号

2024 年 (令和 6 年)

11 月 15 日発行



イチョウ並木 (水戸市・茨城県立歴史館)

CONTENTS

会長あいさつ — 1
名誉会長あいさつ — 2
県人会活動報告 — 3

新規会員紹介 — 7
市町村情報 — 17
いばらきトピックス — 18

いばらきのいち押しグルメ — 20
インフォメーション — 21

会長あいさつ

茨城県人会連合会会長

鈴木 正誠

会員の皆様ならびにご支援をいただいております関係者の皆様には、日頃から職場・地域での県人会活動や同窓会活動などをはじめとして、当連合会はもとより郷土茨城の発展にご尽力をいただいております。心からお礼申し上げます。

現在、私たちの郷土茨城は、大井川知事の強力なリーダーシップの下、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」を基本に、これまでに企業誘致では全国トップクラスの実績、農産物の輸出では史上最高額の達成など大変すばらしい成果を上げておられます。

さらに、今年度は「茨城アフターデステイネーションキャンペーン」で盛り上げ、県内全市町村がご当地グルメを競う「シン・いばらきメシ総選挙」や、都内での「茨城をたべよう収穫祭」が開催されたとのことで、多くの方々に茨城の魅力に触れていただき、新しい茨

城ファンが生まれたと思います。

私もこの元氣な茨城を毎日感じております。朝は、四ツ谷駅構内いっぱいに広がる「茨城の秋」の十七枚の大きなポスターに故郷を思い、帰途には西荻窪駅の取り立ての「茨城の野菜」の品定めをして一日を締めくくります。時折の買い物では、茨城メロンの市場最高評価への肉薄に、梨には味と大きさに度肝を抜かれ、茨城ブランドの多くがかつての脇役から輝かしい主役になって行くのに目を細めています。

これらの県を挙げてのドライブに県人会連合会も呼応すべく、会員増強、行事・イベントの拡充、役員への参加を実施してきました。

会員数は法人、団体、個人ともに新たな賛同者が急速に増加し約四百を数えるに至り、皆様のご理解に深く感謝しております。さらに県人会を担う人材を確保していくには引き続きお声がけが必要ですのでよろしくお願いいたします。

昨年から始めた県人会若手交流会は、今年も盛り上がりました。海外での事業展開活動に奮闘の方、郷土の文化資産を今に生かすべく奮闘の方、県内のスタートアップ創出に奮闘の方、未来に向けての力強い担い手の皆様でした。他の県人会でもこれまでの同郷の年配者が親睦を深める場を超えて、若い世代が、出会い、郷土を見つめ直し、新たな活力を得る場とする動きが出てきたようで、当会はその一つの魁と言えるでしょう。

また、例年の視察研修会として今年は笠間を中心に歴史探訪をいたします。かつて親鸞、善鸞の本拠であ



名誉会長あいさつ

茨城県知事

大井川 和彦

茨城県人会連合会の皆さま方におかれましては、郷土茨城の発展のため、日頃から多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たちは今、加速度的に進む人口減少をはじめ、物価高騰、混迷する世界情勢「地球沸騰化時代」の到来など、将来を見通すことが困難な時代の転換点に立っております。こうした時代を乗り越えるためには、豊かで経済力のある社会を構築することが不可欠との考えのもと、戦略的な企業誘致をはじめ、本県経済の活性化につながる施策に先手先手で取り組んでまいりました。

その結果、二〇二一年度の県民経済計算の推計結果では、本県の経済成長率は国を大幅に上回り、一人当たりの県民所得は、東京都、愛知県に次ぐ、過去最高の全国第三位となるとともに、二〇二三年の工場立地動向調査では、県外企業立地件数が七年連続第一位となったほか、総務省の人口動態調査では、過去五年間にわたり、外国人を含めた社会増加数、増加率が全国上位で推移するなど、本県が人口減少に打ち勝



つための重要な成果が次々と表れております。

また、県産品の海外展開については、輸出先や販売ルートの拡大に戦略的に取り組んだ結果、昨年の農産物及び加工食品の輸出額は、前年度比で四割増となる四十二億円と過去最高額を更新するとともに、農林水産物の付加価値向上に向け、本県オリジナルメロンの「イバラキング」と本県産赤肉メロンから外観や食味の優れた逸品を選ぶコンテストを実施した結果、最優秀賞に選ばれた生産者のメロンは、過去最高価格となる一玉一万二千九百六十円での販売が実現しました。加えて、「常陸牛^{トビ}」や「常陸乃国いせ海老^{いせえび}」などに続き、「常陸乃国しらす」を新たなブランドとして発表し、都内高級百貨店などでの販売が開始されたところです。

さらに、先月、本県の新たなご当地グルメの頂点を決定する「シン・いばらきメシ総選挙二〇二四」を延べ六万四千人の参加を得て開催したところ、多くのメディアで取り上げられ、来場者投票などにより、五霞町の「シン・茨城あげそば」、小美玉市の「ダイヤモンドブラン」がグランプリグルメに決定しました。また、グランプリグルメなど百二十店以上の出店により「茨城をたべよう収穫祭」を都内で初開催したところであり、引き続き、本県の食の魅力を発信してまいります。

加えて、昨年の観光消費額は三千五百七十六億円と過去最高額を更新したほか、戦略的な誘客プロモーションなどにより、昨年の外国人延べ宿泊者数は二十三万八千人と、コロナ禍前の二〇一九年を上回ったところです。

特に、インバウンドについては、韓国のゴルフ需要を捉え、先月、私自ら韓国を訪問し、トップセールスを行ったところ、百二十社を超える現地メディアに取り上げられ、ツアー商品の造成につながるとともに、来月から新たにエアロK

り宗教の葛藤の地でもありましたが、歴史から今へそしてこれからへの変化のヒントを探るには、笠間をはじめ茨城は探訪すべき素材が尽きません。

去る七月の総会で新しい役員が選任されました。執筆すべきは女性常任理事を五名の方にお引き受けいただけただことです。当会の運営に新風が吹くことは疑いありません。

結びに期待を込めて、情報は行動を生むパワーです。情報は人のネットワークから生まれます。県人会会員がお互いの持つ情報を郷土に向けてのパワーに変えていくために、積極的に情報を交換し共有し、行動を助け合う。そういう新しい動きが県人会のネットワークからできればと願っております。

会員の皆様におかれましてはそれぞれのお立場で日頃ご活躍をいただいております中で、時折は「活力があり、日本一幸せな県」を目指す故郷に思いを寄せ、それを仲間の県人会員と交わしていただくのはいかがでしょうか。



による茨城空港と清州とを結ぶ路線の開設が決定しました。

また、茨城空港の中国便については、再開に向けて粘り強く交渉を重ねた結果、来月から、上海及び西安定期便が再開する運びとなったところであります。

さらに、先月から開始した「茨城アフターデステイネーションキャンペーン」では、二百五十を超える体験企画を展開しておりますので、この機会に本県にお越しいただくとともに、身近な方にも来訪を促していただけると幸いです。

一方、安心安全につながる社会基盤の充実に向け、洪水ハザード内の全ての住民の方を対象とした避難訓練を七月までに実施し、相次ぐ豪雨災害などからの先手先手の防災・減災対策を進めているほか、来月から、救急搬送件数の増加などによる医療現場のひっ迫を回避するため、緊急性が認められない救急搬送者からの「選定療養費」の徴収を開始し、救急医療提供体制を確保してまいります。

また、多様な「人財」が活躍する社会の実現を目指し、中高一貫教育校十三校を中心とした魅力ある教育への改革を進めるほか、去る八月には「つくばサイエンス高校」の名誉校長にノーベル物理学賞受賞者である小林誠先生を迎え、教育内容の一層の充実を図るとともに、今年度から平日に学校外で保護者などと体験的・探究的な活動をする「ラーケーション」制度を導入し、子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育ててまいります。

このほか、深刻な労働力不足を踏まえ、ITや語学などに優れた若年層が多いインド人材など優秀な外国人人材の確保・育成や、外国人人材が働きやすく、住みやすい環境の整備に力を入れ、世界から選ばれる県づくりを加速させてまいります。県といたしましては、今後とも、人口減少時代を乗り越え、皆様方が誇りに思える郷土茨城の更なる発展を目指し「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦してまいりますので、皆様方におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、挨拶いたします。



令和六年度 茨城県人会連合会 定期総会・懇親会

茨 城県人会連合会（鈴木正誠会長）の総会と懇親会が七月二十九日、東京都港区のホテルオークラ東京で開かれた。会



茨城アフターDCキャンペーンをPRする「いばらき若旦那」とプロデューサーの安達勇人さん（左）

員をはじめ本県関係者や国会議員、市町村長など約五百五十人が出席し郷土の発展を誓い合った。

冒頭のあいさつで鈴木会長は「茨城県は大井川知事のリーダーシップのもと、発展の大車輪は高速で回っている。企業誘致やいばらきブランドの開発などで多くの成果を上げている」と実績を評価。十月開催予定の「シン・いばらきメシ総選挙」についても触れ、「新しい名物が出てくれれば素晴らしい」と期待を込めた。また「連合会はふるさと茨城県の応援団。新しい茨城県づくり、日本一幸せな県づくりに連合会も非力ながら邁進していきたい」と述べた。

続いて同名誉会長の

大井川知事があいさつ。

「人口減少という全国的な課題に直面しながらも、豊かな地域づくりや安心安全なインフラ整備、多様な人材が活躍できる地域づくりを進めている。就任から七年連続で県外からの企業誘致数は全国一位」など経済活性化の実績を強調。農業・水産業分野について、「常陸乃国いせ海老」や「常陸牛煌」など県産品のブランド化や輸出増加、観光分野でもインバウンドの増加や観光消費額が過去最高になる見通しなど多くの成功を収めていると報告した。最後に「茨城県はこれからもっと発展していくと確信している。郷土茨城を東京から応援して」と協力を呼び掛けた。



鈴木会長

半村登県議会議長の発声で乾杯後、新入会員紹介やイベントPR、プロスポーツ団体PR、お楽しみ抽選会などのアトラクションが行われた。会場には自治体や団体のPRブースが設置され、観光名所や特産品を紹介。常陸牛煌のローストビーフ、茨城県銘柄豚「常陸の輝き」のローストや奥久慈しゃものタンドールなど、県の特産品を使った料理が振舞われ、参加者は郷土の味を堪能した。



新入会員紹介で講話を披露する三代目松林伯知さん



来場者に特産品をPR（筑西市）



茨城県銘柄豚「常陸の輝き」のローストなど、特産品を使った料理が振舞われた



大井川知事



令和六年度 茨城県人会連合会 新年賀詞交歓会

茨 城県人会連合会（鈴木正誠会長）の賀詞交歓会が二月七日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で開かれた。首都圏で活躍する本県関係者約五百人が参加し、郷土の発展を誓い合った。



市の魅力を来場者にPR（石岡市）

取り組みも次々と成功を収め、茨城ブランドの向上が県外在住者にとっても大きな自信となっている。県人会もネットワークを広げ、茨城の発展に貢献していきたい」と語った。

大井川知事は冒頭、能登半島地震に言及し「茨城県からも延べ四百二十人が現地で支援にあたっている。しっかりと腰を据えて被災地の支援にあたっていく」と述べた。また「地域にとっての一番の悩みは人口減少。地方が生き残っていくためには、人が吸い寄せられる地域に生まれ変わらなければいけない。茨城県は過去六年間で企業誘致、首都圏からの本社機能移転は全国一位、農産物の海外輸出は約十倍に増加するなど大きな成果を上げてきた。茨城デスティネーショ

ンキャンペーンも成功を収めた。特に「女将カード」が爆発的に売れて、リアルな女将に会いに旅館に泊まるという人もいた。ブランド化の取り組みも進んでおり、「常陸乃国いせ海老」や

梨の「恵水」などが市場で高い評価を得ている。これらの成果を基盤に、引き続き新しいことにチャレンジしていく。今後も茨城県を盛り上げていくために、皆さんと協力していきたい」

とあいさつした。鏡開きと乾杯の後、参加者は会場に設けられた各自治体や団体のブースで県産品を味わったり、本県の思い出を語り合うなど親交を深めた。



郷土の飛躍を願い鏡開き



活躍を誓う茨城アストロプラネッツの河西智之副社長



登壇し意気込みを語る鹿島アントラーズの小泉文明社長



地元食材を使った料理を堪能する来場者

12月3日～

チョンジュ

清州（韓国）路線 初運航！

12月24日～

上海・西安（中国）路線
運航再開！



✈ IBARAKI AIRPORT Information ✈

国際線運航ダイヤ International Flight schedule

【2024年10月27日～2025年3月29日】

台北（桃園）Taipei （日・木 運航）

便名	茨城 → 台北	便名	台北 → 茨城
IT219	15:00 → 17:55 (日)	IT218	09:50 → 14:00
	15:00 → 18:05 (木)		

上海（浦東）Shanghai （火・木・土 運航）

便名	茨城 → 上海	便名	上海 → 茨城
9C8988	13:00 → 15:35 (12/31～)	9C8987	08:15 → 12:00 (12/24～)
	17:00 → 19:35 (12/24～12/28)		

タイガーエア台湾公式サイト
https://www.tigerairtw.com/jp/
TEL 050-5211-1017
(10:00～17:00/月～金曜日)



清州 Cheongju （火・木・土 運航）
※連続チャーター便

便名	茨城 → 清州	便名	清州 → 茨城
RF383	17:00 → 20:05 (12/3～3/4)	RF384	14:00 → 16:05 (12/3～3/4)

エアロK公式サイト（清州便）
https://www.aerok.com/jp
TEL（国際電話）+82-1899-2299
(9:00～18:00/年中無休)



西安（咸陽）Xian （火・木・土 運航）
※12/24～12/28特別運航

便名	茨城 → 西安	便名	西安 → 茨城
9C6296	13:00 → 17:30 (12/24～12/28)	9C6295	10:45 → 16:00 (12/24～12/28)

春秋航空公式サイト（上海・西安便）
https://jp.ch.com/
日本コールセンター
TEL 0570-666-188
(9:00～17:30/年中無休)
Mail info@sss-airlines.com



このほかスカイマークによる国内4路線も好評運航中！ 詳細は茨城空港ホームページをご覧ください。

茨城空港ホームページ https://www.ibaraki-airport.net/

✕ @IBR_airport

📷 @ibaraki_airport

茨城空港
IBARAKI AIRPORT

トヨタレンタリース
茨城空港駐車場は P 無料！

県人会
活動報告

県内
視察事業



Report

茨城デステイネーション
キャンペーン開催施設訪問

令

和五年十一月三十
日、県内としては四
年ぶりとなる視察研修会が
開かれた。鈴木正誠会長は
か会員二十人が参加し、県
南西地区を中心に茨城デス
テイネーションキャンペーン
（DC）が開催されてい
た施設を訪問した。

最初に訪れたのは、令和
三年に大規模改修を経て、
体験型アクティビティや四
季折々の花が楽しめる場所
に再生された石岡市のいば
らきフラワーパーク。九百
種類以上のバラが咲き誇る
バラ園などを見学した。
その後、筑西市に移動し、
来福酒造が運営する古民家
カフェ「OMI CAFE」
で和やかな雰囲気の中、地
元食材を使用した昼食や甘
酒を楽しんだ。
次に訪れたザ・ヒロサ
ワ・シティでは廣澤美術館



や当時、一般公開前だった
乗り物・テーマパークエリ
ア「ユメノバ」を見学。戦
後初の国産旅客機「YS-
11」や寝台特急「北斗星」な
どの乗り物が展示され、多
くの参加者が懐かしい姿を
カメラに収めていた。

最後に立ち寄った常総市
の「道の駅常総」では、地
元の特産品やお土産などの
買い物を楽しんだ。
鈴木会長は「茨城には）
楽しめる施設が充実してい
ると感じてもらえた」と手
応えを話した。

茨城県へのふるさと納税（いばらき応援寄附金）のご案内

茨城県では、皆様からの「ふるさと納税（寄附金）」を募集して
おります。皆様からの寄附金は、子どもたちの教育環境充実や農林水
産物のブランド化、災害ボランティア活動の支援、犬猫殺処分ゼロ
を維持する取組など様々な施策に役立てています。また、ご寄附い
ただいた県外在住の方を対象に、茨城の魅力あふれるお礼の品を取
り揃えています。

問い合わせ窓口 | 茨城県総務部税務課 電話 029 (301) 2418

お申し込みは…

「ふるさとチョイス」等のふ
るさと納税ポータルサイト
から申し込みいただけます。



ふるさとチョイス



さとふる



楽天ふるさと納税



ふるなび



ふるなびトラベル



食べチョク



県ホームページ

寄附金の使いみち（応援メニュー）の一例



子どもたちの教育環境の充実



災害ボランティア活動の支援

お礼の品 ご寄附いただいた県外在住の方が対象です



常陸牛



常陸の輝き



ほしいも



メロン



国民宿舎 鶴の岬

※写真は一例です。お礼の品は他にも多数取り揃えています。

Interview

株式会社日本M&Aセンター社員でM&Aコンサルタントの小倉優耶さん（31）＝つくば市出身＝に茨城県内での新たな事業展開などについてお聞きしました。



—貴社の事業内容を教えてください。

M&Aの仲介がメインです。後継者がいない中小企業の後継ぎとなる会社を紹介するケースが約6割。コロナ禍以降は、中堅企業が、上場企業など大手が持つ人材や資本力を活用したいという意向で会社を譲渡する「成長戦略型M&A」も増えてきています。弊社でお手伝いする業種としては建設業が一番多く、次いで部品製造、IT関連が続きます。とある会社は15年で10数社譲受され、売上を約8億から100億円超に伸ばしました。そのうち当初事業の売り上げは今では8千万ほどしかありません。既存事業のみならず成長産業にフォーカスしていく企業が強いという典型ですね。

—印象的な仕事は？

当社では契約が成立すると、結婚式になぞらえた「成約式」を執り行います。昨年お手伝いをさせて

頂いた案件で、従業員発表の際に譲受企業さまから全従業員へのベースアップが発表され、譲渡企業の社長が涙を流して喜ばれていました。経営者として孤独な中で責務を全うされ、従業員の人生を背負う重さを感じる印象的な場面でした。経営者人生における重要な一場面にお立会いさせて頂けることは非常にやりがいを感じます。

—小倉さんは茨城県つくば市の出身だそうですね。

はい。高校まで地元つくば市で育ちました。中・高・大学と陸上のハンマー投げをやってきました。金メダリストの室伏広治さんとも練習をご一緒したこともあります。新卒で入社した証券会社の最初の配属先もつくば支店でした。

—地域に特化したファンドの構築を目指しているとお聞きました。

10年スパンの構想ですが、茨城に特化したファンドを作りたいと思っています。その一歩として今年の4月に「いばらき経営相談窓口」を開設しました。M&Aは会社同士のご縁をつなぐことが主な仕事ですが、M&Aを通じた地方創生にコミットするのが最終的な着地点だと思っています。事業を売却した譲渡オーナーさまから資金を集めてファンドを作り、そのお金で茨城の企業を譲り受け、また次の事業成長につなげていく。そのような仕組みを早期に作りたいと思っています。日本にはまだ同様の取り組みを行っているファンドはないので、日本初の取り組みになると思います。



M&Aコンサルタント 小倉優耶

県人会活動報告

新規会員紹介

株式会社日本M&Aセンター

新入会員紹介

【個人会員】

桑井 優子	五十嵐 祐二	柳亭 市寿
蛸原 俊輔	本間 寛章	小倉 優耶
亀井 則道	古谷 敬幸	雨宮 秀仁
鈴木 正守	山口 祐樹	加藤木 正充
野澤 周永	沼田 誠	加藤木 照子
中川 裕	室田 明里	引田 舞依
塩田 将司	神永 将行	高橋 宏

【法人会員】

一誠商事株式会社	千葉 秀憲
株式会社ユードム	藤原 美江
株式会社ホギメディカル	
グローブシップ株式会社	

令和5年10月1日～令和6年9月30日までの入会者 ※入会日順・敬称略

県人会活動報告

新規会員紹介

Webメディア「日本ワイン.jp」

日本ワインプロモーター 磯部 美由紀

Webメディア「日本ワイン.jp」のチーフエディターを務める磯部美由紀さん（47）＝笠間市出身＝に、日本ワインの魅力を広く伝えるための取り組みや、茨城県との深い関わりについてお聞きしました。



—磯部さんの業務内容を教えてください。

フリーランスとして、主に国内の「日本ワインフェス」や海外の展示会で日本ワインをPRしています。また、Webメディア「日本ワイン.jp」のチーフエディターとして、記事の作成・編集を通じて日本ワインに関する知識や情報を発信しています。

—Cruxとの仕事の関係は？

Cruxは日本ワイン専門の商社で、ワインの卸売を中心に、メディア事業や日本ワイン検定の事務局運営等、教育事業も手がけています。私はメディア事業を担当しており、日本ワインやチーズに関するドキュメンタリー映画も制作しました。

—映画を制作したきっかけは？

ウェブメディアだけでは広く日本ワインの魅力が伝わらないという思いから、映画制作に挑戦しました。2022年に『Vin Japonais～the story of NIHON WINE』、2024年には『フロマージュ・ジャポネ』を制作しました。現在はAmazonプライムでご覧いただけます。

—茨城県との関わりをお聞かせください。

高校卒業まで県内に住んでいましたが、東京に進学してからは都内での生活が長くなっています。年齢を重ね、良いものを知れば知るほど茨城の魅力に気づくようになりました。茨城産の野菜やお米の美味しさに感動しています。ワイナリーも全国6位の軒数を誇り、さらなるポテンシャルを感じています。

—今後の活動についてお聞かせください。

牛久と勝沼の日本ワインの歴史についてコラムを書いたことがあります。日本ワインといえば山梨が有名ですが、実は牛久でも明治時代に大規模なワイン生産が始まっていた。茨城には歴史的背景と若い世代のワイナリーが共存しています。今後は「茨城ワインの近代史と未来」をテーマに、茨城ワインの魅力を国内外に発信できればと思っています。映像化も一つの手段でしょう。また、海外PRにはGI（地理的表示保護）の取得も必要です。ワインは茨城県の生産者と都心部や海外とを繋ぐ魅力的なアイテムだと思います。



新役員紹介

【副会長】

飯塚 哲哉
江幡 秀則

【常任理事】

大槻 奈那
鈴木 昭一

【監事】

成島 由美
広瀬 敏男

【最高参与】

宮 健司
三代 琢治

【監事】

松田 浩志

【最高参与】

荒蒔 康一郎
箕輪 光博

令和6年度総会にて役員改選 ※50音順・敬称略

Interview

伴走型での地域・企業支援、人材育成をおこない、茨城県の公共空間利活用や大洗町でのシステム展開に尽力する株式会社アンドアイ代表の室田明里さん(41)に、茨城県の観光ポテンシャルや今後の展望についてお聞きしました。

—室田さんの略歴と茨城県との関わりについて教えてください。

温泉観光地の熊本県人吉市出身なこともあり、まちづくりに携わりたいと考えていました。リクルート入社時に地域活性の仕事を希望したところ、街の飲食店を通じて地域を元気にするという役割を担い、多い時には約300店舗を担当して提案した企画や広告が顧客にどう影響するかを毎月間近で感じていました。続いて、じゃらんリサーチセンター配属となり、初めて任された自治体が茨城県でした。観光DMO発足時期で、県や鹿行地域のDMO設立時調査などを担当しました。アンドアイ設立後、偕楽園有料化の検討委員になったことで関係がより深まり、色々な相談を受けるようになりました。

—印象に残っている茨城県での最近の仕事は？

昨年、大洗町は宿泊と体験を観光協会のサイトから一括で予約できるシステムを構築しました。独自でのシステム構築により、予約手数料での自主財源獲得・観光実態のリアルタイム把握が可能になります。他エリアへ出かけがちな観光客が町内で楽しめるよう、明日できる体験・食事処の予約・決済ができます。観光協会と一緒に、体験予約サイトを継続的に運営する仕掛けや構築時の資金調達、町の方々と体験の企画をあわせて作りました。

—観光協会2.0のようなサイトですね。

宿に着いてから翌日の予定を決めたいという観光客向けに、遅い時間でも宿泊先から直接アクセスで



き、予約決済できるサイトになっています。綿密に旅の予定を立てない人も案外多いものです。いつも利用者&実行者目線でのアドバイスを心がけ、次の一歩や直接的な実行支援を提供しています。

—観光という視点で、茨城県のポテンシャルは？

多くの可能性を秘めています。例えば、イチゴ狩や農業体験など農業の副業的な取組みが観光で大きな成功を収めているように、様々な取組みを観光体験として企画化することで、より喜ばれる茨城「体験王国」になると考えています。住んでよし、訪れてよしの茨城の魅力をもっと発信していきたいです。



大洗観光協会・体験予約サイト
https://www.oarai-info.jp/spot_tag/activity01/



県人会活動報告

新規会員紹介

株式会社アンドアイ

代表 室田 明里

県人会活動報告

新規会員紹介

スタジオ地図

代表取締役プロデューサー 齋藤 優一郎

アニメーション映画制作会社「スタジオ地図」代表取締役プロデューサーの齋藤優一郎さん(48)=守谷市出身=に、作品づくりにおいて大切にしていることや、今後の展望についてお聞きしました。



—2011年に設立されたアニメーション映画制作会社「スタジオ地図」の社名の由来を教えてください。

「地図」というのは白地図という意味なんです。100年以上ある世界の映画史の中で、まだまだアニメーション映画で描いていないモチーフやテーマ、表現というものは無限に広がっているであろうと。そういう可能性に対して、主体性と覚悟を持ち、新しいチャレンジをすることによって、時代の風雪にも耐え抜く、新しい作品という地図を描いていきたい。そう言った志を込めて、細田守監督が地図と名付けました。

—その細田監督との出会いは？

互いに映画を作りたいかった。でも映画を作れるというのは本当に奇跡の出来事なんです。2004年、私たちは「時をかける少女」という作品を作るために出会い、以降、20年に亘って、6本の映画を、監督とプロデューサーという関係で作り続けてきました。それらは、「時をかける少女」「サマーウォーズ」「おおかみこどもの雨と雪」「バケモノの子」「竜とそばかすの姫」、そしてアカデミー賞にノミネートされた「未来のミライ」です。

—作品づくりで大切にされていることや、今後の作品についてお聞かせ下さい。

アニメーションという表現は、子どもと若者たちが見ることが前提の表現だと思っています。そして、アニメーションは世界を肯定するものだと思っている。だからこそ、これからの時代を生きていく、子どもや若者たちの未来を肯定するような映画を作りたい。いま、世界はガラガラと音を立てながら変容し続けている。その中で、未来を描くということはどういうことなのか。

自分とは何者なのかというアイデンティティを発見し、主体性と覚悟、バイタリティを持って、成長という力強い一歩を踏み出していく子ども達の姿と、それを励まし、一緒に成長していく親や大人、そして社会の変化こそが未来であり、それが映画で描き続けるべきことと思っています。

齋藤 優一郎
(さいとう・ゆういちろう)
1976年11月5日生。茨城県守谷市出身。米国留学後、アニメーション映画の世界へ飛び込む。2011年にスタジオ地図を設立。アカデミー会員(AMPAS)、全米製作者組合員(PGA)。



Interview

銅やレアメタルを扱う非鉄金属メーカー、JX金属株式会社・執行役員の川口義之さん（50）に、茨城県ひたちなか市に建設中の大規模新工場、上場の背景と目的など、来年創業120年を迎える同社が次に見据える未来についてお聞きしました。

―事業内容について詳しく教えてください。

当社は銅やレアメタルを扱う非鉄金属メーカーとして、先端素材の製造・販売から資源開発、製錬、リサイクルまでをグローバルに展開しています。1905年の日立鉱山開業を起源とし、長年にわたり祖業である鉱山・製錬事業を中心として事業を行ってきましたが、現在は、特に成長が見込まれる先端素材分野、特に半導体用スパッタリングターゲットなどの半導体材料の分野に力を入れています。

―建設中のひたちなか新工場について教えてください。

半導体材料市場は今後も中長期的に成長していくと見込まれています。この先の増産ニーズに対応できる供給体制を確保するため、ひたちなか市に約40年ぶりの大規模工場を建設しています。新工場は日立事業所や磯原工場といった県内の当社主要拠点に近接しており、拠点間で一体運営がしやすい利点があります。本社がある東京からのアクセスも良好であり、非常に良い立地であると考えています。

―10月に上場を申請されましたが、背景と目的について教えてください。

エレクトロニクス業界、特に半導体業界は技術革新のスピードが速いため、迅速かつ専門的な意思決定が求められます。上場することでこれまで以上にこうした動きがとりやすくなりますので、今後も当社が持続的に成長していくためには、なんとしてもこれを成し遂げることが必要であると考えています。

―地域貢献活動についても教えてください。

創業以来「地域と共に成長する」ことを大切にし、地域との共存共栄を重視してきました。地域活性化を目指す水戸ホーリーホックをトップパートナーとして支援しているほか、茨城大学工学部と包括連携協定を締結し、「茨城で学び、働き、暮らす」をスロ



ーガンに茨城県内で活躍するエンジニア育成を推進しています。

―茨城県への思いをお聞かせください。

当社は日立鉱山として1905年に創業し、120年近くにわたって茨城の地と共に歩んできました。日立事業所や磯原工場に建設中のひたちなか新工場も加わり、茨城県の重要性はますます高まっています。これからも、茨城県の皆様と共存共栄の精神を大切にし、茨城を拠点としてグローバル社会の発展に貢献していきたいと考えています。



JX金属の日立事業所

県人会活動報告

新規会員紹介

JX金属株式会社

執行役員 川口義之

茨城県出身の若手落語家ユニット「いばらく」の立川志のぼんさん（47）＝石岡市出身＝と柳亭市寿さん（39）＝取手市出身＝のお二人に、落語の魅力について語っていただきました。



立川志のぼんさん（右）と柳亭市寿さん

―落語との出会いを教えてください。

志のぼん：修学旅行先のホテルで偶然見たテレビ番組「落語のピン」の大師匠・立川談志の高座姿に衝撃を受けました。大学では入学式を終えたその足で落語研究会に入会し、人前で喋ることの面白さに目覚めました。
市寿：私もキッカケは立川談志師匠ですが、媒体はYouTubeです。元々はミュージシャン志望でした。

―ユニットを結成したきっかけは？

志：東京だけでなく、地元茨城にも活動のエリアを広げようと考えていた時に市寿くんからお誘いを受けました。「渡りに船」でしたのですぐにOKしました。
市：落語の前座修行で培ったことを少しでも地元に恩返ししたいと思っていました。そこで茨城県出身の先輩落語家・志のぼん兄さんにお声がけいたしました。

―落語の魅力を語ってください。

志：落語家ひとりと座布団一枚の空間が、それぞれの落語家の演じ方によって大きく世界が広がること、見えないものが見えてくることですね。

市：人間の心の機微が漸に詰まっています。人生のあらゆるものが入っている落語はすごいです。演者の人柄・人生経験が反映されるのでやりがいがあります。

―茨城についての想いと今後の目標などをお聞かせください。

志：茨城の各地を訪れるたびに、その可能性の大きさを感じています。見せ方次第で、茨城の魅力はさらに引き立つと思います。将来的には、落語を通じて茨城を盛り上げ、その魅力を全国に発信する公演を東京や地方で開催することが当面の野望です。県内各地、どこへでも伺いますので、ぜひお声がけください。真打昇進を目指して、これからも精進してまいります。
市：魅力度ランキング最下位、ネタに出来て良いという見方もありますが、私はあのランキングを目の敵にして、トップ10を狙っています。私も引っ込み思案の茨城県民ですが、その反動を落語で表現しているつもりです。実は小美玉市出身の新メンバーが加入予定です。三本の矢が揃いましたので益々頑張って参ります。



いばらく

県人会活動報告

新規会員紹介

立川志のぼん・柳亭市寿

Interview

茨城県を拠点にソフトウェア開発を手掛け、IT業界での存在感を高めている株式会社ユードム代表取締役社長の森淳一さん(48)＝水戸市出身＝に事業への取り組みや今後の展望についてお聞きしました。



―森社長の略歴と貴社の事業内容を教えてください。―

水戸一高、東京理科大学工学部を経て、日本オラルに入社しました。2013年にユードムに入社、18年から3代目の社長を務めています。高校・大学では硬式野球部主将を務めました。現在の主な事業はソフトウェアの設計・開発です。18年に米IT大手アマゾン・コムの子会社でクラウド事業を展開する「アマゾンウェブサービス(AWS)」のパートナー認定を県内企業で初めて取得しました。22年には「公共部門パートナー」にも認定されています。現在は大手企業との取引が多いですが、自社製品開発にも力を入れたいと思っています。4月から専任のチームを立ち上げました。システム開発から保守まで全てを担うことで、より中小企業に寄り添った形のサービスを提供していきたいと考えています。

―IT業界は人材の取り合いと聞いていますが、いかがです？―

苦勞しています。東京の大手と取り合いになると厳しい。対策の一環として社員紹介制度を導入しました。紹介した社員、された社員の双方に20万円支給するというものです。紹介したいと思える会社であることが大事だと考えています。労働環境も改善して、10年前に比べて平均残業時

間は半分ほどに減り、有給取得率も8割を超えます。昔のやり方では若者に選んでもらえない時代です。

―印象に残っている仕事は？―

ユードム入社直後に実施した「プロジェクトW」です。20-30代の社員の8割が参加してくれて、会社の課題や理想を語り合いました。ここで一気に多くの若手社員との距離が近づき、離職率も8%から2～3%に減少しました。

―地域貢献にも積極的に取り組まれています。―

水戸ホーリーホック、茨城ロボッツのスポンサーや水戸市民会館のネーミングライツ契約などをしています。48年間、地元で事業を続けてこられたことに対する恩返しという気持ちです。地元への貢献が結果的には社の繁栄にも繋がってくると思っています。

―今後の展望についてお聞かせください。―

県内のマーケットも限られるため、今後ますます東京の仕事を茨城で対応するという形になっていくと思います。ITに関するご相談は是非、ユードムへ。県内の雇用と納税にも繋がります！



水戸市民会館 ユードムホール

県人会活動報告

新規会員紹介

株式会社ユードム

代表取締役社長 森淳一

茨城県を拠点に、賃貸管理と不動産開発を中心とした総合不動産業を展開している一誠商事株式会社の代表取締役、五十嵐徹さん(49)＝土浦市出身＝に東京進出の成果や農業分野への進出、今後のビジネス展開などについてお聞きしました。



―事業概要と貴社の強みを教えてください。―

当社は総合不動産業として主に賃貸管理と不動産開発の二本柱で事業を展開しております。特に賃貸管理業が主力で、管理戸数では北関東1位となる約26,000戸の実績を誇ります。これは地域密着型での運営と、創業以来多くのお客様からのご愛顧の賜物です。また、宅地分譲や工業・物流用地の開発も手がけており、地域貢献の一環として大手企業の工場誘致や物流倉庫の提供なども行い、雇用創出の一助となることを目指しております。

―東京にも拠点を構えましたね。―

一昨年、東京支店を開設し国土交通大臣免許を取得しました。現在の主な事業はテナントビルの建設です。清澄白河で7階建てのクリニックビルを建設し、テナントを誘致後に売却しました。現在、下総中山でも同様のテナントビルを建設中で、順調に進んでおります。

―農業分野へ進出されました。―

茨城県が農業県であることを活かして農業分野に進出しました。耕作者認定も取得し、サツマイモを中心に土壌の研究を進めています。まだ一部署とし

での取り組みですが、将来的にはアグリテックを取り入れたオートメーション化を導入して農地の運営を強化し、収益が見込めれば分社化も視野に入れています。

―地域貢献活動についてお聞かせください。―

CSR(企業の社会的責任・地域貢献)の一環として、地元筑波大学のスポーツチームや茨城県のプロスポーツチームを応援しています。また、筑波大学付属病院の先進的な治療を求めて遠方より来院する小児がん患者とその家族を応援するため、病院近隣の宿泊施設を廉価で提供する「キッズハウスプロジェクト」を運営し、地域社会に貢献しております。

―今後の展望をお聞かせください。―

将来的には、不動産業から資産管理業へと拡大し、相続税対策や資産運用をサポートする事業も充実させていきたいと考えております。不動産特定共同事業法に基づく免許を取得し、不動産小口化商品や金融商品を組成できるようになりました。今後も賃貸管理業と親和性の高いサービスを強化してまいります。



下総中山に建設中のテナントビル

県人会活動報告

新規会員紹介

一誠商事株式会社

代表取締役 五十嵐徹

Interview

オフィスビルや商業施設などの総合管理を手掛けるグローブシップ株式会社の代表取締役社長・矢口敏和さん(70)＝小美玉市出身＝に創業の経緯や茨城県への思いについてお聞きました。



―事業内容について教えてください。

当社はオフィスビルや商業施設、学校、工場など、建物の総合管理を全国ベースで行っており、ビルメンテナンス業に属します。具体的には、清掃、設備管理、電気・空調・給排水の管理、警備、受付業務など建物運営に必要なサービスを提供しています。特徴的なのは首都圏の大型ビルに加えて、全国30余りの大学の施設管理を担当している点です。また、フランスのグローバル企業、ソデクス社との合弁会社を通じ、外資系企業の施設管理も手掛けています。

―創業の経緯、社名の由来は？

前身の会社(株式会社ビル代行)は1953年に設立。私は1994年に前職の三菱銀行よりこの会社に転職しました。当時、家内の父がこの会社の社長をしていました。2005年に業界大手の老舗企業を買収しましたが、これは業界では初めての本格的なM&Aでした。その後2015年に単なる合併ではなく、両社が創業メンバーとなり新しい理想的な会社を創ることにしました。ミッションは「地球に優しく、安全で快適な環境づくり」、ビジョンは「創意工夫でチャレンジし、快適環境創造のリーディングカンパニーになること」と定め、信頼や技術を大切にする価値観を掲げました。社名「グローブシップ」は地球環境に貢献したいという願いから名付けました。

―印象に残っている仕事は。

2015年4月にグローブシップが正式に始動する直前、新たなM&Aの機会がありました。相手は全国ベースの同業大手企業です。7社が競うコンペで、当社は意向表明書に前回とのM&Aの経緯を記し、傘下に入った場合は同様な扱いを約束しました。その結果、当社が選ばれ、同年5月に当該企業は正式に当社グループの一員になることが決まりました。現在では親会社を上回る利益を上げています。幸運はいつ来るか分からないので、常に準備することが大事だと感じました。

―茨城県への思いをお聞かせください。

グローブシップとは別に全国の原子力施設のメンテナンスを行う株式会社アトックスを経営しています。茨城県では同社の社員と当社グループ会社の茨城グローブシップ株式会社の社員を併せて約900人の社員がいます。茨城は首都圏に近く、人口も多いためポテンシャルが高い地域です。茨城グローブシップでは、ミュージカルやバスケットボール「茨城ロボッツ」の試合に、児童養護施設や障がい者施設の方々を招待するなど地域貢献活動を行っています。私自身も3歳から高校まで茨城にいたため、深い愛着を感じています。



県人会活動報告

新規会員紹介

グローブシップ株式会社

代表取締役社長 矢口 敏和

県人会活動報告

新規会員紹介

株式会社ホギメディカル

代表取締役社長 川久保 秀樹

株式会社ホギメディカル代表取締役社長の川久保秀樹さん(53)＝日立市出身＝に、医療現場での安全性向上や効率化を目指す取り組み、今後の事業展開などについてお聞きました。



―事業内容を教えてください。

創業以来63年にわたり、常にお客様の課題解決を考え、医療現場の「安全と安心」に貢献してきました。「プレミアムキット」をはじめとするキット製品を主力とし、年間160万件を超える日本全国の手術現場で使用されています。「プレミアムキット」は、手術に必要な材料の多くを1つにまとめ、手術準備の時間を大幅に短縮し、看護師の負担軽減と安全性向上、手術室の運営効率向上に寄与しています。

―「プレミアムキット」は筑波工場で製造されているそうですね。

牛久市奥原町の筑波工場の敷地内に2017年に新設した新キット工場で製造しています。全長約20キロに及ぶ製造ラインにオリジナルのロボットを配置し、製造から滅菌、配送まで多くの工程を自動化しています。極力人の手が介在しないことで、付着菌数や異物混入のリスクを減少することができます。

―R-SUD（再製造単回使用医療機器）事業についてもお聞かせください。

R-SUDとは病院で使用されたSUD（Single Use Device）を医療機器製造販売業者がその責任のもとで適切に収集し分解、洗浄、部品交換、再組立て、滅菌等の処理を行い、再び使用できるようにする事

業のことをいいます。当社では、再製造の技術を確認し、「REVICE」ブランドとして販売しております。現在、国内最多の7品目の承認を取得し、今後市場拡大が期待できる事業のひとつです。

―茨城県とのかかわりは？

1971年に日立市で生まれ、3歳まで過ごしました。新卒で入社した製薬会社時代にも県内にあった研究所や工場を訪れる機会が多く、茨城との縁を感じていました。また、2009年から地域貢献として当社筑波工場と隣接する耕作放棄地を水田として復活させる取り組み「ほたるの郷プロジェクト」を開始し、社員や家族も参加する環境保全活動を行っています。

―今後の展望をお聞かせください。

「プレミアムキット」を通じ、医療従事者の働き方改革やタスクシフトなど社会課題の解決に貢献しつつ、持続可能な成長を目指しています。また、茨城県に拠点を持つ企業として地域とのつながりを大切にしながら、医療業界でのさらなる発展を目指しています。

販売中の「REVICE」製品（トロッカー）



主力製品の「プレミアムキット」



茨城県の新「ご当地グルメ」が誕生!!

シン・いばらきメシ総選挙2024～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～
グランプリグルメが決定しました

シン・いばらきメシ総選挙2024とは？

【開催期間】

令和6年10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)の3日間

【開催場所】

茨城県三の丸庁舎(水戸市)

【エントリー部門】

- ・市町村は一般料理とスイーツの2部門にエントリー可能
- ・一般料理とスイーツの2部門でそれぞれグランプリを決定

【エントリー条件】

- ・新規グルメであること
- ・既存のご当地グルメの場合は、
新たな工夫によりブラッシュアップを図ること
- ・茨城県産の食材が使用されていること など



公式WEBサイトはこちら▲

収穫量全国1位の農産物が多く、豊かな漁場にも恵まれ、畜産物もブランド銘柄がいくつもある食材の宝庫・茨城県。しかし、『茨城県といえど〇〇!』と言えるグルメはないのではないか? そんな現状を打破すべく、「シン・いばらきメシ総選挙 2024～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～」を開催しました。

イベント当日は県内全44市町村のエントリーグルメが総結集するとともに、多くの協賛・協力企業団体による出展をいただきました。初開催にも関わらず、県内外から3日間で延べ6万4千人もの皆様にご来場をいただき、グランプリの座をかけた熱い闘いが繰り広げられました。

そして、来場者の投票や専門家の審査等により、一般料理部門では五霞町の「シン・茨城あげそば ～パリッ!カリッ!5つの味変シン食感～」が、スイーツ部門では小美玉市の「ダイヤモンドラン」が、茨城県を代表する新「ご当地グルメ」として、グランプリに選ばれました。グランプリグルメについては、今後県外へ集中的にプロモーションを展開する予定です。

一般料理部門

〈五霞町〉シン・茨城あげそば
～パリッ!カリッ!5つの味変シン食感～



茨城の名産品である常陸秋そばの風味・良さを残しながら揚げることでシン食感を追求。さらに県産野菜をたっぷりトッピングしました。ベースのあんかけに、「五霞町」の名にちなんだ5つの味変を楽しめる逸品です。見た目や香り、味わいや噛む音まで、五感を刺激します。

茨城県で一番小さな五霞町から茨城を盛り上げたいという熱い思いで創りました。シン・茨城あげそばを全国にPRしていきます。(ごかみらいLab)

販売場所：道の駅ごか(猿島郡五霞町ごかみらい13-3)

問い合わせ：道の駅ごか(0280-84-1000)

スイーツ部門

〈小美玉市〉ダイヤモンドラン



生乳たっぷりのアイスに絞った金色さつまいもクリームをかけた逸品! クリームの中に隠れた干し芋味と焼き芋味のアイスは食べ比べの価値あり。中央に福来みかんマカロンを配し、市が誇る絶景、筑波山に夕日が沈む「ダイヤモンド筑波」をイメージさせています。

食材の宝庫である茨城県の中で小美玉市がスイーツ部門の1位に選ばれたことはとても誇りで、これからも地元の食材を多くの方に届けたいです。((株)小美玉ふるさと食品公社 木村工場長)

販売場所：空のえき「そ・ら・ら」(小美玉市山野1628-44)

※11/23(土)から販売開始

問い合わせ：(株)小美玉ふるさと食品公社(0299-56-6991)

自動運転EVバス 「じょっぴー」

全国に先駆けて、令和六年二月十六日に自動運転EVバス「じょっぴー」の定常運行がスタートしました。市役所と東部地区商業施設およびその周辺を結ぶルートとなっており市役所から一日四往復の運行で、無料で利用することが出来ます。

CO₂排出量がゼロであり、専用車庫に搭載された太陽光発電設備の再生可能エネルギーを活用することで、環境に優しい持続可能な公共交通を実現しています。今後も、利用者の声をもとに関

常陸太田市では令和三十二年(二〇五〇)年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。取り組みを進める中での、重点施策を紹介します。

メープルリーフの森づくり

森林環境譲与税を活用し、里美牧場エリアにカエデ(メープルリーフ)の森を育てる試みで、大塚製薬(株)と明治安田生命保険(相互)との包括連携協定事業の一つに位置づけられています。緑の木々を増やすことでカーボンニュートラルにつながるほか、カエデの木から採れる樹液は甘いメープルシロップの原料にもなります。

植樹イベントでは、市内外から募集した子育て世代の家族が、植樹や木工体験などを楽しみます。二十年後には植樹した方々にまた集まってもらい、樹液を採って美味しいメープルシロップをつくらうという夢を描いています。



INFORMATION

常陸太田市へのアクセス

【鉄道】JR水郡線

水戸駅→常陸太田駅(約40分)

【高速道路】常磐自動車道

那珂IC→国道349号(約20分)

日立南太田IC→国道293号(約20分)

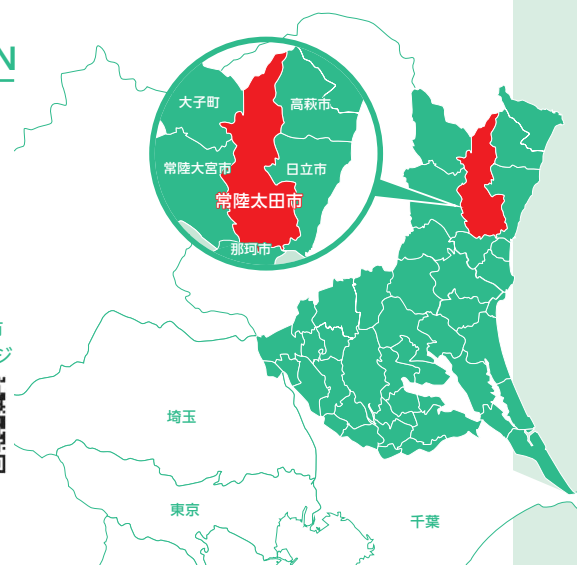
常陸太田市役所連絡先

常陸太田市政策推進室広報広聴課

〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690

TEL.0294-72-3111(代表)

常陸太田市
ホームページ



市町村情報

常陸太田市

HITACHIOTA CITY

持続可能な街を支える カーボンニュートラル の実現



常陸太田市
公式マスコットキャラクター
じょうづるさん

常陸太田市は県北東部にあり、水戸市から二十キロメートル、東京から百二十キロメートル圏に位置しています。また、県内最大の面積を有しています。徳川光圀公が晩年を過ごした「西山御殿」や、日本最大級の長さを誇る歩行者専用吊橋「竜神大吊橋」などがある歴史と文化あふれるまちです。



豊かな自然に育まれた食材の宝庫・茨城県。
そんな茨城の食材を使ったお店や、茨城出身の方が営むお店をご紹介しますコーナーです。

第12回 神戸牛 新波

五感を刺激する鉄板料理— 和モダンな空間で 常陸牛・煌の美味しさ堪能

麹町に佇む高級鉄板焼き店「神戸牛 新波」は、鉄板焼きの新たなスタイルを世に送り出すことを目指しています。店名は、既存の枠にとらわれず、新たな挑戦を続けるという思いを込めて命名されました。完全予約制でカウンター8席のみという特別な空間で、最高の料理体験を提供しています。

料理長の高山和也さんは、都内のホテルでのキャリアを皮切りに、築地の名店「Kurosawa」で鉄板焼きの腕を磨きました。確かな技術に裏打ちされたパフォーマンスで訪れる客を魅了します。

その技術を支えるのが、素材の旨味を最大限に引き出すために特注でしつらえた厚さ3cmの鉄板。オープンから2年間かけて「ゆっくり育てた」一番の商売道具です。

神戸牛に加えて、メインディッシュとして新たに取り入れたのが、茨城県産ブランド牛を使った「常陸牛・煌」コース。高山さんが試食し、「こんなにおいしいお肉があるのか」と驚いたといいます。

「煌」はオレイン酸の含有量やサシの質が厳密に管理されたブレのない味わいが特徴で、神戸牛に勝るとも劣らない絶品と評判です。フィレとサーロインの両方が味わえます。

隣接する「鮎 新波」との連携によって仕入れた新鮮な伊勢海老やアワビなどの高級魚介類も楽しめます。料理に合わせて厳選されたワインが食事の感動をさらに高めてくれるでしょう。また、「神戸牛 新波」にしながら、「鮎 新波」の鮎をいただくことも可能です。



店内は、黒を基調としたシックなインテリアに、日本の伝統美を感じさせる和風モダンな空間。天の川をイメージした組子細工の欄間は、訪れる客を幻想的な雰囲気へと誘います。笠間焼や有田焼など一流の器を使い、料理の美しさを際立たせる演出も見逃せません。接待や大切な人との特別な時間を過ごす場として、細部まで行き届いたおもてなしが、訪れる人々の心に深く刻まれます。

洗練された技と情熱が込められた「神戸牛 新波」で、鉄板焼きの新たな魅力を味わってみてはいかがでしょうか。



神戸牛 新波

東京都千代田区麹町 4-8-23
高善ビル1階
① 月曜日～金曜日
ランチ 11:30～14:30
(L.O. 13:45) /
ディナー 16:00～23:00
(最終入店 20:30)
※ランチ/ディナー共に事前予約制となります。
② 土・日曜日、祝日 ※土曜日は要相談
③ カウンター8席
全席禁煙(別室に喫煙専用室を設置)
ご予約 TEL.03-3264-2858
[ホームページ]
<https://kobebeef-shinpa.jp/>



TOPICS

いばらきトピックス



茨城アフター デスティネーション キャンペーン実施中

茨城ならではの想像超え企画の一部をご紹介します
[期間] 2024.10.1～12.31



観光ガイドブック
JR東日本駅構内や県内の観光スポットなどで配布中
デジタル版

最新情報は
観光いばらき
WEBサイトへ



凄麺 茨城けんちんそば



県内企業のヤマダイ(八千代町)が、茨城の郷土料理「けんちんそば」を、茨城DCオリジナルカップ麺として全国で販売中です。

問 ヤマダイ(株) 0296-48-0133

いばらき若旦那



メンバーは全員茨城県内のホテル、旅館で働く現役若旦那。期間中は各イベントの出演やホテル・旅館でのランチ、ディナーショーなどが付いたツアーを開催します。

潮来SUPクルージング



潮来市内を流れる前川で水路のまちを巡るアドベンチャーのようなSUP体験ツアーを実施します。

問 (一社) いたこミズベデザイン
locsup.itako@gmail.com

朝焼け絶景サイクリング



朝焼けのグラデーションが霞ヶ浦に映り、その様子は地元の方にも愛される絶景! 日の出前に自転車を走らせ、到着した先で段々と明るくなり、空の様子が変わっていく景色を眺められるアクティビティです。

問 BEB5 土浦 050-3134-8094

トクトクレンタカー「のつとく」



のつとくは、海の街「大洗」の観光名所を巡る新たな移動手段として、「トクトク」をレンタルできるサービスです。トクトクを使って普段とは違う旅や冒険をしませんか?

問 うみまちテラス 029-266-0788

シーカヤック体験



北茨城市の観光スポットである二ツ島周辺でシーカヤックを楽しめます。体験後は、近くの施設で絶景展望風呂と食事を楽しめるプランとなっています。

問 北茨城市観光協会 0293-43-1111

半導体材料でレッツドウ!

JX金属PR大使 銅の妖精 カッパくん

© GIRLS und PANZER Finale Projekt

GIRLS und PANZER das FINALE 最終章

遠くも近くもよく見える 最先端の白内障治療

多焦点
眼内レンズで
老眼も
一緒に治療

レーザー
白内障治療
で安全

医療法人社団 翔友会
品川近視クリニック
Shinagawa LASIK Center

お問い合わせ・ご予約は
0120-412-049

19

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。
そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。
地域エリアの皆様とともに、
未来に向かって力強く前進いたします。

SDGs推進プロジェクト
あゆみ
筑波銀行は
SDGs推進プロジェクト
「あゆみ」に
取り組んでいます。

筑波銀行
Tsukuba Bank

茨城の最新情報が 手の中に

茨城新聞電子版 月額3,500円(税込) ※1契約で1ID(1名様分)

法人プラン

月額 **4,600円(税込)**
1契約で2ID登録可能
(2名様分)
1,100円で1ID追加可能
(1名様)
※最大6ID(6名様分)まで

電子版ならではの5つの特徴

- キーワードで簡単検索
- クリッピング機能 ※お気に入りの記事を保存
- 1ヵ月分の紙面を閲覧
- リアルタイムで速報配信
- オリジナルコンテンツ
※「電子版コラム」や「デジ缶」など

初月無料

【お問い合わせ】茨城新聞社DX推進局
TEL 029-239-3028 (平日10:00~18:00)
メール dx-dpt@ibaraki-np.co.jp

本 社／茨 城 県 水 戸 市 笠 原 町 9 7 8 - 2 5 茨 城 県 開 発 公 社 ビ ル TEL 029-239-3001(代)

東京支社／東 京 都 中 央 区 八 丁 堀 3 - 2 5 - 1 0 J R 八 丁 堀 ビ ル 2 F TEL 03-3552-0505

大阪支社／大 阪 府 大 阪 市 北 区 堂 島 浜 2-2-28 堂 島 ア ク シ ス ビ ル 4 階 SYNTH ビ ジ ネ ス セ ン タ ー 堂 島 TEL 06-6344-4605

インフォメーション

茨城県人会連合会 入会のご案内

茨城県人会は、会員相互の親睦と発展をはかり、郷土茨城の振興に寄与することを目的として、昭和43年5月に設立されました。

会員の資格は、茨城県にゆかりのある法人、団体、個人で、東京都及びその近郊に所在、在住していること、そして「郷土の名誉を尊重し、郷土愛精神を基調とした会員相互の親睦を図る」といった本会の趣旨にご賛同いただける方となります。

現在、法人及び個人会員を募集しておりますので、ぜひ、この機会にご入会ください。

◆年会費

〔個人会員〕5,000円(学生及び20歳以下の会員は無料)
〔法人会員〕1口 50,000円

◆主な事業

総会・懇親会(毎年7月頃)

新年賀詞交歓会(毎年2月頃)

◆寄稿のお願い

会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

県人会の活動状況や近況、身近な茨城に関わる事柄、または郷土に対する思いなど、どのようなものでも結構です。事務局まで是非お寄せください。

◆わが茨城 ROSE

令和6年11月15日発行(第120号)

発行人 鈴木 正誠
発行所 茨城県人会連合会
東京都千代田区平河町2-6-3
(都道府県会館9階茨城県営業戦略部東京渉外局行政課内)
電 話 03-5212-9088
FAX 03-5212-9089

◆個人・法人会員の入会をご希望される方は、下記QRコードから申し込みいただくか、入会申込書に必要事項を記載のうえ、FAX又はメールにて下記までお送りください。なお、入会申込書は事務局へ問い合わせいただければ、メール等にて送付いたします。

個人
申込フォーム

法人
申込フォーム

◆県人会の活性化を目的として、以下の2つの交流会開催

- 若手交流会の開催
- 女性役員等による意見交換会

茨城県人会連合会公式SNS

茨城県人会連合会では、当連合会の活動報告、茨城県の実施するイベントに関する情報、会員の皆様に向けて発信したい情報など幅広く情報発信を行っております。

地元である茨城県に関する様々な情報を会員の皆様にお届けするため、また、より多くの人に茨城県人会連合会を知ってもらうため、今後とも情報発信を行って参ります。

会員の皆様におかれましても発信したい情報等がございましたら、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

○X(旧Twitter)
アカウント名 茨城県人会連合会@Kenjin_Ibaraki
URL https://twitter.com/Kenjin_Ibaraki

○Facebook
ページ名 茨城県人会連合会
URL <https://www.facebook.com/Kenjin.Ibaraki>

X(旧Twitter)

Facebook



当行イメージキャラクター 鹿島アントラーズ 知念慶選手・鈴木優磨選手・樋口雄太選手

ともに、みらいへ。

For the Community, Together with the Community.



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ